

市第98号議案 令和3年度横浜市一般会計補正予算（第7号）  
（こども青少年局関係部分）

1 総括表

（単位：千円）

	補正額	国支出金	県支出金	その他	一般財源
こども青少年費	45,133	42,440	0	0	2,693

2 補正概要

■公立児童福祉施設整備事業

（単位：千円）

補正額	国支出金	県支出金	その他	一般財源
45,133	42,440	0	0	2,693

【補正内容】

西部児童相談所の再整備は、児童相談所及び一時保護所の執務室等の狭あい、老朽化、バリアフリー未対応等の課題を解消し、児童の生活環境の安全確保や相談者対応の向上を図るため、西部児童相談所と隣接する旧横浜市医師会保土谷看護専門学校を一体的に利用できるように、令和2年度、令和3年度の2か年計画で再整備工事を進めています。工事を進めていく中で、雨水配管等の老朽化などの当初設計時点では把握できなかった事象が判明したため、設計変更を行い、円滑な工事の実施を図るため増額補正を行います。

（裏面あり）

【参考】

(1) 西部児童相談所の再整備工事概要

西部児童相談所の再整備及び青少年相談センターの移転整備のため、児童相談所棟及び旧横浜市医師会保土谷看護専門学校棟の改修工事を令和2年度から3年度の2か年で行っています。

第1工区工事（旧看護学校棟部分の改修）が本年6月末に完了し、7月に西部児童相談所が隣接する旧看護学校棟へ移転しました。その後、第2工区工事を7月から着工し、令和4年3月竣工の予定です。

(2) 全体工事費見込

約1,931百万円 ※工事監理費含む

≪2か年工事（R2：534百万円、R3：1,397百万円）≫

(3) 工事スケジュール

令和2年10月 第1工区 工事着工（旧看護学校棟の改修）

令和3年6月 第1工区 工事完了

令和3年7月 西部児相が旧看護学校棟へ移転

第2工区 工事着工（旧西部児童相談所棟の改修）

令和4年3月 全面竣工

西部児童相談所一時保護所の拡張及び青少年相談センターの移転

(4) 建物概要及び再整備計画

	旧保土谷看護専門学校棟 (第1工区)	旧西部児童相談所棟 (第2工区)
所在地	保土ヶ谷区川辺町	
建設年（築年）	昭和60年（築36年）	
敷地面積	2,607㎡	
延床面積	3,741㎡	3,388㎡
建物構造・階数	RC造5階、地下1階	

再整備計画

